



伝統芸能フォーラム

日本には世界に誇れる伝統芸能が数多くあります。しかし「敷居が高い」、「難しそう」等の理由で鑑賞されることがない方も多いのではないでしょうか。千葉県文化振興財団では、そんな伝統芸能を初めて見る方にもわかりやすくお楽しみいただける「伝統芸能フォーラム」を開催しました。今回は「能楽（狂言）」と「歌舞伎」を主なテーマとし、第一線で活躍されている方々をゲストにお招きしました。

第一部は「伝統芸能を知る～入門～」と題し、能楽（狂言）と歌舞伎について実演付きの解説を行いました。それぞれの成り立ち、基本の所作や約束事、普段見ることのできない裏方の仕事などをわかりやすくご紹介いただきました。実演では大きな拍手や笑い声があふれ、終始和やかな雰囲気となりました。



第二部は「伝統芸能の未来を語る」というテーマでパネルディスカッションを実施しました。伝統芸能を多くの方に知ってもらうためにはどうしたらよいか、新型コロナウイルス感染症により文化芸術が苦境に立たされている中どのような取り組みをしたら良いかなど、実例を交えたお話を伺いました。



ロビーでは国立能楽堂の協力により、能楽に関する展示を実施しました。大変貴重な能面をはじめ、能楽の基本を学べるパネルや映像の展示を行い、お客様は興味深い様子で鑑賞されていました。



伝統芸能フォーラムは、当財団の事業である「創作狂言」に協働で取り組んでいる千葉大学とNPO法人フォーエヴァー、同じく「千葉県こども歌舞伎アカデミー」でご協力いただいている舞台創造研究所との連携により、伝統芸能全体の普及・振興につながる大変有意義な催しとすることができました。

今後も様々な団体と協力し、皆様に文化芸術をより親しんでいただけるよう努めて参ります。

今回ご来場いただいたお客様は、普段から歌舞伎や能の鑑賞している方から初めて伝統芸能に触れたという方まで様々でしたが、多くの方から「楽しかった」「また見たい」などの感想をいただきました。

これからも皆様に伝統芸能の魅力を知っていただける催しを開催しますので、是非ご来場ください！



【公演名】

伝統芸能フォーラム

【公演日時・会場】

令和3年2月23日（火祝）

【出演】

小笠原由祠（能楽師狂言方と泉流）
葛西聖司（古典芸能解説者）
山崎徹（歌舞伎付け打ち師）
田草川みずき（千葉大学文学部准教授）

【主催】

公益財団法人千葉県文化振興財団

【協力】

国立能楽堂
国立大学法人千葉大学
NPO法人フォーエヴァー
舞台創造研究所

【入場料】

無料（要事前申し込み）

【入場者数】

72名